

矢田集落

新潟県柏崎市の中心から車で約20分。
74世帯、200人弱の小さな集落です。
バスは1日に4本しか通りません。

新潟市・神奈川・東京から集まった3人の大学生は、
そんな矢田集落で約一ヶ月間の
「暮らしのインターン」を経験しました。

住まいとなった空き家にエアコンはありません。
自炊です。苦手な虫もたくさん出ます。

だけどそのおかげで、
「暑いから上がっていきなさい」と声をかけてもらえたり、
たくさん野菜をいただくこともできました。

「こんな何もねえとこに、よう来なさった」
と何度も言われます。

でも、田舎暮らしを経験したことのない
「ソトモノ」の私たちにっては魅力たっぷりの場所でした。



「お世話になった矢田集落の皆さんの、
話の『タネ』になったらいいな。」

「私たち3人が、矢田集落のこれからに向けて蒔かれた、
『種』のような存在であつたらいいな。」

そんな思いを込めて、
この冊子に『ヤタのタネ』という名前をつけました。

そして、この冊子を偶然手に取った「ソトモノ」にも、
この集落の魅力を知って欲しい。

少しでも心が惹かれたら、
あなたなりの田舎との関わり方を考えてみてください。

この夏、私たちを温かく受け入れてくれた矢田集落に、
元気な芽が出て、綺麗な花が咲きますように。

